



富岡町 共生サポートセンターさくらの郷



共生サポートセンターさくらの郷(全景)



個別分散



ヒートポンプ給湯

東日本大震災により全町民が避難 今なお続く復興に向けた取り組み

福島県浜通り(沿岸部)に位置する富岡町は、富岡川や大倉山、麓山などの山々、砂浜と断崖絶壁の海岸線などの豊かな自然環境や、桜のアーチが見事な夜の森の桜並木やつつじなどの観光資源に恵まれた地域である。

しかし、2011年3月11日の東日本大震災にともなう東京電力福島第一原子力発電所の事故のため、全町民が全国各地に避難を余儀なくされた。その後、除染やインフラ復旧、生活基盤の再生が進められ、17年4月1日には一部地域を除き避難指示が解除され、居住ができるようになるなど復興に向けた取り組みを進めている。

人にも環境にもやさしい オール電化施設が開所

22年3月にオープンした「共生サポートセンターさくらの郷」は、福祉・介護サービス、交流の拠点として利用者の健康増進を支えるフィットネスジム、地域の野菜や果物を使った健康的なメニューを提供するカフェ、会議室、ワークショップリームを備えた「トータ

ルサポートセンターとみおか」と、定員50名(ショートステイ2床含む)の「特別養護老人ホーム桜の園」で構成されている。

同施設の給湯設備は、大量のお湯を使用する特別養護老人ホームの機械浴には業務用ヒートポンプ給湯機を、お湯の使用場所が分散している同ホームユニット単位の個浴、トータルサポートセンターとみおかのシャワー施設には小型業務用エコキュートを採用し、使用場所に近く使用湯量に応じた最適なシステム・機器により負荷平準化と省エネルギー性を向上させた。

空調設備は、電気式ヒートポンプ(個別分散)を導入し、CO₂排出量の大幅な削減による環境負荷の低減とランニングコストの削減を実現した。また、厨房設備もすべて電気厨房を採用し、入居者にも働く人にもやさしいオール電化の施設となっている。



小型業務用エコキュート

今後も町が保有する各施設は、ヒートポンプ技術と再生可能エネルギーにより環境負荷低減に向けた取り組みを推進し、施設利用者の快適性向上と環境への配慮の両立を目指していく。



業務用ヒートポンプ給湯機



共生サポートセンターさくらの郷(正面)

富岡町 共生サポートセンターさくらの郷

所在地: 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚36
建築設計: 積水ハウス日総建・鴻池組特定建設工事共同企業体
建築施工: 積水ハウス日総建・鴻池組特定建設工事共同企業体
延床面積: トータルサポートセンターとみおか 998㎡
桜の園 2,075㎡
竣工: 2022年新設

■ 設備概要

業務用ヒートポンプ給湯機 35kW×1台 貯湯槽4㎡
エコキュート 6kW×2台 貯湯槽0.92㎡【ダイキン工業】
エコキュート 7kW×5台 貯湯槽1.12㎡
空冷ヒートポンプ(ビル用マルチ他) 68台 能力計564.9kW
【日立ジョンソンコントロールズ空調】